

上対馬町漁協定置網漁業ビジネスモデル計画

【策定：上対馬町漁協定置網漁業ビジネスモデル構築推進・普及会議】

背景

対馬地域において、定置網漁業は一般漁業における総水揚量の約15%（2,537t）を占める基幹産業であり、雇用の受け皿として重要な役割を担っているが、魚価の低迷や水揚量の減少、従業員の安定確保など多くの課題がある。そこで、定置網の生産設備の改良や加工・流通・観光への一体的な取組により、離島における収益性の高い漁業モデルを確立する必要がある。

課題



1.生産性の向上

・現行漁具の小さな目合いでは、潮抜けが悪く、網の形状が変形したり、潮流が速い時に操業できなかつたりと操業機会を失っている。



口抜きスルメイカ

2.付加価値の向上

・主要な漁獲物であるスルメイカの付加価値向上のために口抜き作業をしているが、集荷時間が決まっているため出荷数量に限界がある。



3.雇用拡大と改善

・新たな分野（加工・流通や観光）にも対応した雇用を確保するとともに、休日の増加など就労環境の改善が必要である。

取組の方向性

「定置網漁具の改良と網染めによる漁業生産の向上」「観光定置や直売等の取組による経営の多角化」等を実施し、地元対馬に根ざした収益性の高い雇用型漁業のモデル経営体を目指す。

計画内容

網の目合い拡大や網染め（防藻剤）導入

操業日数年17日増加

作業船の追加導入による作業の効率化

高単価の「口抜きスルメイカ」出荷数増加

鮮魚の産直通販体制の強化

「鮮魚ボックス」の商品開発、販路拡大等による販売額の増加

観光定置網の展開

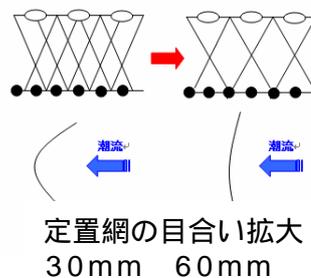
正規職員の雇用1名増

直売所での鮮魚及び加工品の販売

売上の増加とパート従業員の雇用2名増

雇用条件の改善

売上げ増加に伴う給与所得の増加
休日日数の増加



鮮魚の産直通販



韓国人観光客や修学旅行生の漁業体験（観光定置）

～地域を牽引するビジネスモデルへ～

収益性の向上

安定した経営体制の確立

労働環境改善と雇用の確保

KPI
(重要成果指標)

	基準年(直近3カ年平均) (37%増)	目標年(平成31年)
付加生産額 (営業利益・人件費・減価償却費)	43,203千円	59,120千円
雇用者数	10名(1名) ¹	13名(3名) ¹
賃金	2,700千円/年 ²	2,820千円/年 ²
労働時間(休日)	62日/年	68日/年

1 () はパート従業員数 2 定期昇給(従来雇用者1名の平均値)